

## 令和2年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）

「認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業」

# 認知症地域支援推進員活動の質の評価と社会参加活動推進

## 目的

全市区町村に配置されている認知症地域支援推進員（以下、推進員とする。）の活動の質の向上を目指して、推進員活動の質の評価と向上のあり方を検討し提言を行うとともに、推進員の今後の重要な機能である「認知症の人の社会参加活動の推進」のために役立つ手引き等の作成を目的にした。

## 概要

### 主な事業内容

\* 検討委員会を3回、ワーキングチーム検討会を3回開催

- ① 都道府県認知症施策担当者、市区町村認知症施策担当者、推進員を対象に、全国調査を実施（悉皆調査）
- ② 推進員活動の質の評価のあり方と質の向上に向けた提言を作成
- ③ 推進員による「認知症の人の社会参加活動の推進」のための手引き（ガイド）を作成
- ④ 報告会を開催

### 主な事業結果・成果

① 推進員活動全国調査：地域共生の実現に向けた活動の実態・成果、課題、必要としている体制・支援  
・回答数は、都道府県47（100.0%）、市区町村1,161（66.7%）、推進員3,402（48.8%）

・推進員調査結果より、推進員の約3割は自治体の認知症施策を質的な面から推進する多彩な機能を実際に果たしながら、認知症本人や地域に多様な成果を生み出し地域共生の進捗に寄与していることが確認された。一方、「活動をやりたくてもできない」と回答した推進員が約半数を占めた。

→背景として活動環境の整備の課題：推進員活動のビジョン・活動の焦点・方針の共有、活動のしやすさへの行政担当者の配慮、推進員同士のつながる機会作り、継続的活動の調整等

・都道府県及び市区町村調査結果より、推進員活動の環境整備を（具体的に）進めている自治体と（あまり）していない自治体が2極化の傾向

→推進員活動のプロセス及び活動を通じた多面的な変化/成果に関係

・都道府県、市区町村、推進員三者ともに、「推進員活動の今後の焦点の明確化が課題」が9割強

・三者ともに、必要としている体制・支援として多かったのは、「施策担当者と推進員合同での他地域の人と学び話し合える機会」、「具体的な相談をしあうネットワーク」、「個別のアドバイスを受けられるしくみ」等

※都道府県別に全国結果と照合できる市区町村・推進員データセットを作成。各都道府県にフィードバック

② 「推進員活動の質の評価と質向上に向けた提言（7つの鍵）：リーフレット作成

・評価の考え方、進め方、評価構造（3領域：活動環境、活動プロセス、成果）の基本形を作成  
・質の評価も活かしながら、施策担当者と推進員が協働で質を向上させていく「7つの鍵」を提言

③ 「社会参加活動推進ガイド」を作成：DVD付（各地の実際の多様な場面、7分）

・推進員の活動事例をもとに、多様な社会参加の可能性とポイントをわかりやすく提示

\* 本人の「はたらきたい」、「楽しみたい」、「自分の言葉で伝えたい」、「一緒にいたい」が起点

\* ガイド・DVD：推進員、そして本人、家族、地域の人と一緒に見られる内容・ことばを工夫

④ 報告会を開催（zoom）：1,087名が参加。9割強が参考点を見つけ実践へ



わがまちで地域共生をすすめよう！  
認知症施策推進員活動が広がりつつある



はたらきたい、楽しみたい  
へまらに出かけ、一緒に、いい日々をへ

社会参加活動推進ガイド 2020

## 成果物

「7つの鍵」リーフレット、ガイド（DVD付）及び普及版を自治体等に送付。Dcnetに掲載